

令和3年社会生活基本調査

－石川県結果の概要－

● 社会生活基本調査とは

(1) 調査目的

社会生活基本調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間等における主な活動について調査し、各種行政施策の基礎資料を得ることを目的とし、昭和51年の第1回調査以来5年ごとに実施している。

(2) 調査対象

全国の世帯から無作為に選定した約9万1千世帯に居住する10歳以上の世帯員

(3) 調査時期

令和3年10月20日現在で実施した。

● 生活行動に関する結果（生活行動編）

自由時間等における過去1年間における主な活動

- ・ 学習・自己啓発・訓練
- ・ ボランティア活動
- ・ スポーツ
- ・ 趣味・娯楽
- ・ 旅行・娯楽

<用語の解説>

行動者数・・・ 過去1年間に該当する種類の活動を行った人（10歳以上）の数
（※石川県の10歳以上の推定人口は997千人）

行動者率・・・ 10歳以上人口に占める行動者数の割合（%）

● 生活時間に関する結果（生活時間編）

- ・曜日、行動の種類別の総平均時間、行動者平均時間及び行動者率
- ・曜日、時間帯別の行動の種類別行動者率
- ・時刻別行動者数（構成比）、平均時刻及び行動者率

<用語の解説>

○1次活動・・・睡眠、食事など生理的に必要な活動

- 1 睡眠
- 2 身の回りの用事
- 3 食事

○2次活動・・・仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動

- 4 通勤・通学
- 5 仕事（収入を伴う仕事）
- 6 学業（学生が学校の授業やそれに関連して行う学習活動）
- 7 家事
- 8 介護・看護（入浴・屋内の移動・食事等の手助け）
- 9 育児
- 10 買い物

○3次活動・・・1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動

- 11 移動（通勤・通学を除く）
- 12 テレビ・ラジオ・新聞・雑誌
- 13 休養・くつろぎ
- 14 学習・自己啓発・訓練（学業以外）
- 15 趣味・娯楽
- 16 スポーツ
- 17 ボランティア活動・社会奉仕活動
- 18 交際・つきあい
- 19 受診・療養
- 20 その他

○家事関連・・・「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」

○総平均時間・・・該当する種類の行動をしなかった人を含む全員についての平均

○行動者平均時間・・・該当する種類の行動をした人のみについての平均

<利用上の注意>

※ この結果の概要では、特に断りのない限り、総平均時間の数値を記載していません。

※ この結果は、総務省統計局が公表した結果の抜粋です。詳しい結果内容や全国の結果につきましては、総務省統計局 社会生活基本調査のページをご覧ください。

<https://www.stat.go.jp/data/shakai/2021/index.html>

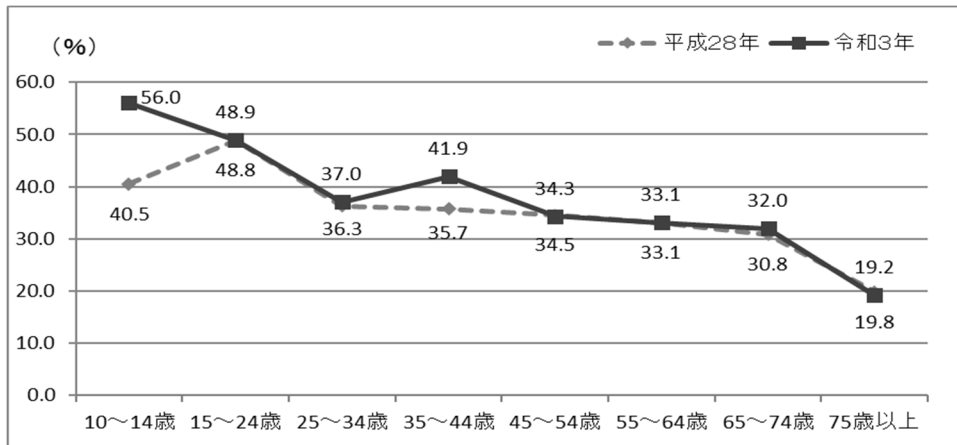
生活行動編

1 学習・自己啓発・訓練

「学習・自己啓発・訓練」の行動者率は35.6%で、5年前より1.5ポイント上昇

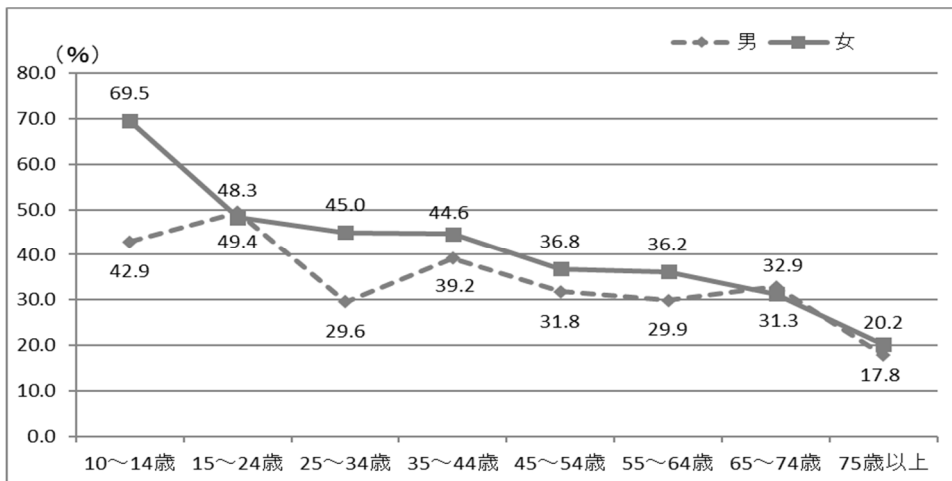
過去1年間（令和2年10月20日～令和3年10月19日。以下同じ）に「学習・自己啓発・訓練」を行った県民（10歳以上）の数（行動者数。以下同じ）は355千人で、10歳以上の人口に占める割合（行動者率。以下同じ）は35.6%（全国39.6%）となっている。平成28年と比べると1.5ポイント上昇している。

図1-1 「学習・自己啓発・訓練」の年齢階級別行動者率（平成28年、令和3年）-石川県



行動者数を男女別にみると、男性が163千人、女性は192千人となっており、行動者率は男性が33.5%（全国39.8%）、女性が37.6%（同39.5%）となっている。

図1-2 「学習・自己啓発・訓練」の男女、年齢階級別行動者率（令和3年）-石川県

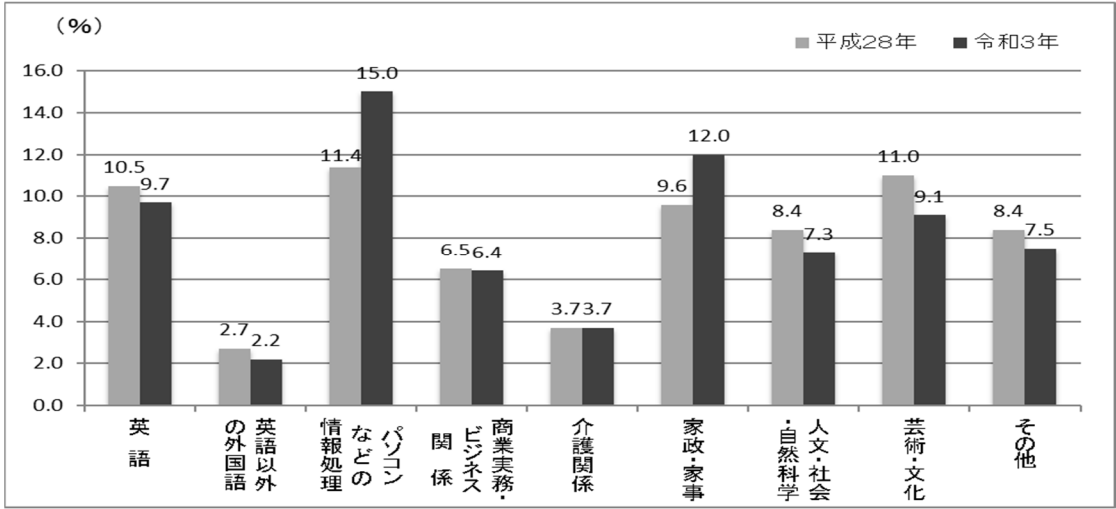


男性は「パソコンなどの情報処理」、女性は「家政・家事」の行動者率が最も高い

種類別に行動者率をみると、「パソコンなどの情報処理」が15.0%と最も高く、「家政・家事」が12.0%と続いている。

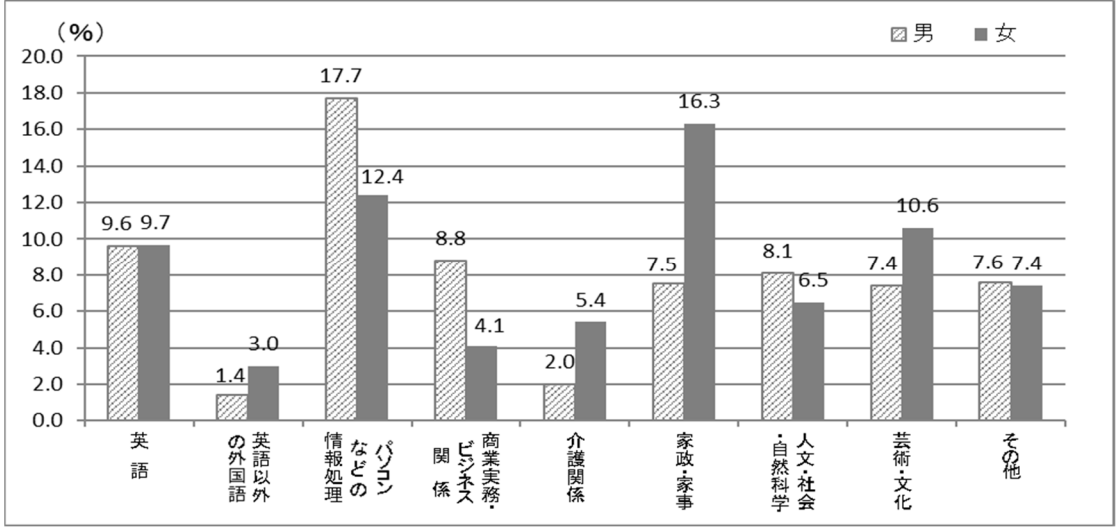
これを平成28年と比べると、「パソコンなどの情報処理」が3.6ポイント上昇、「家政・家事」が2.4ポイント上昇などとなっている。(図1-3)

図1-3 「学習・自己啓発・訓練」の種類別行動者率(平成28年、令和3年)-石川県



種類・男女別にみると男性は「パソコンなどの情報処理」が17.7%と最も高く、次いで「英語」が9.6%、女性は「家政・家事」が16.3%と最も高く、次いで「パソコンなどの情報処理」が12.4%となっている。(図1-4)

図1-4 「学習・自己啓発・訓練」の種類、男女別行動者率(令和3年)-石川県

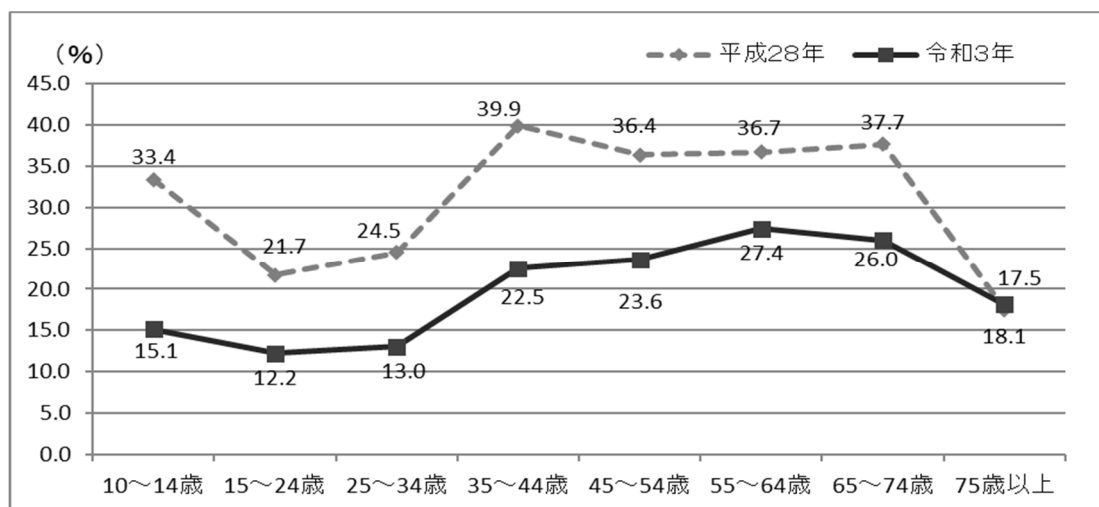


2 ボランティア活動

「ボランティア活動」の行動者率は20.7%で、5年前より10.9ポイント低下

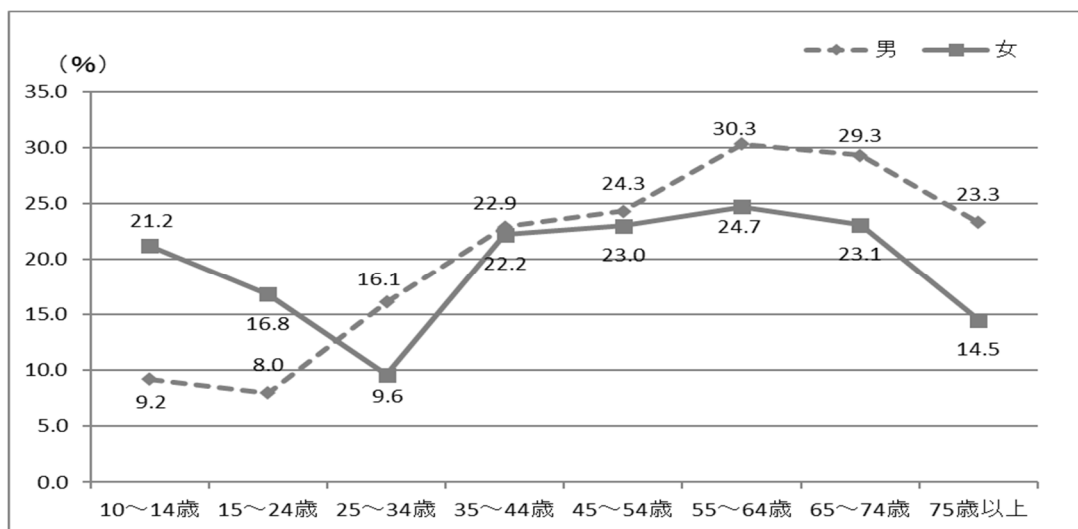
「ボランティア活動」の行動者数は207千人で、行動者率は20.7%（全国17.8%）と平成28年と比べると10.9ポイント低下している。行動者率を年齢階級別にみると、55～64歳が27.4%と最も高くなっている。（図2-1）

図2-1 「ボランティア活動」の年齢階級別行動者率（平成28年、令和3年）-石川県



行動者数を男女別にみると、男性が106千人、女性が100千人となっており、行動者率は男性が21.9%、（全国18.2%）、女性は19.7%、（全国17.5%）となっている。

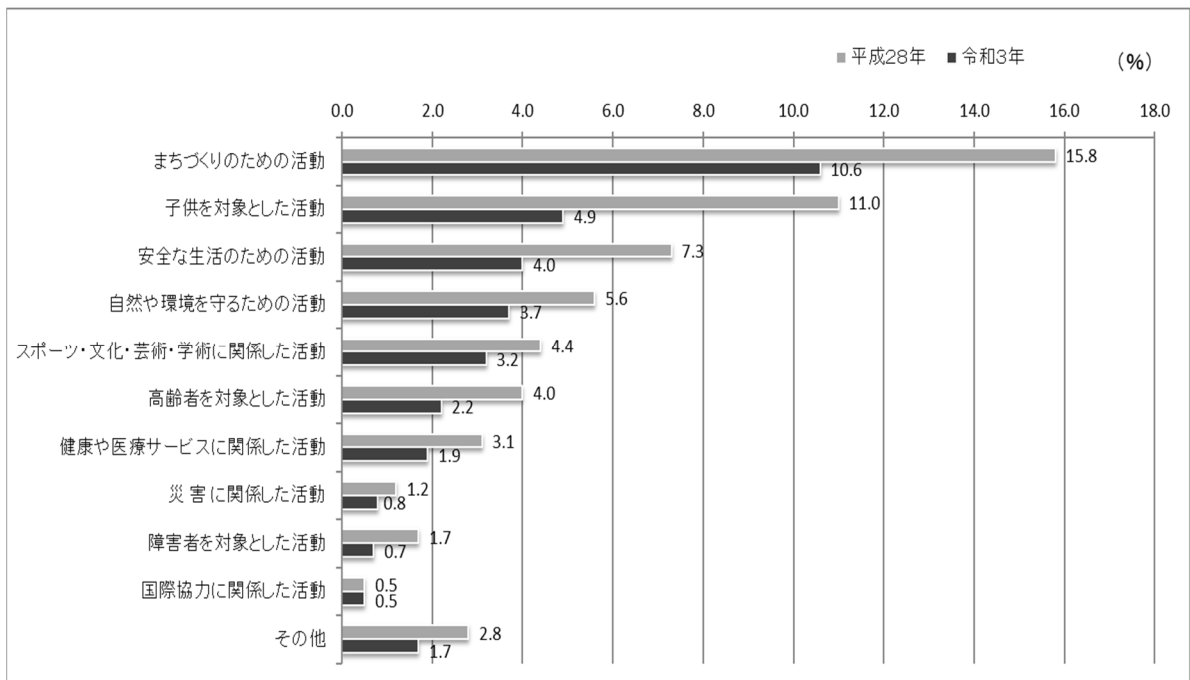
図2-2 「ボランティア活動」男女、年齢階級別の行動者率（令和3年）-石川県



「まちづくりのための活動」行動者率は10.6%

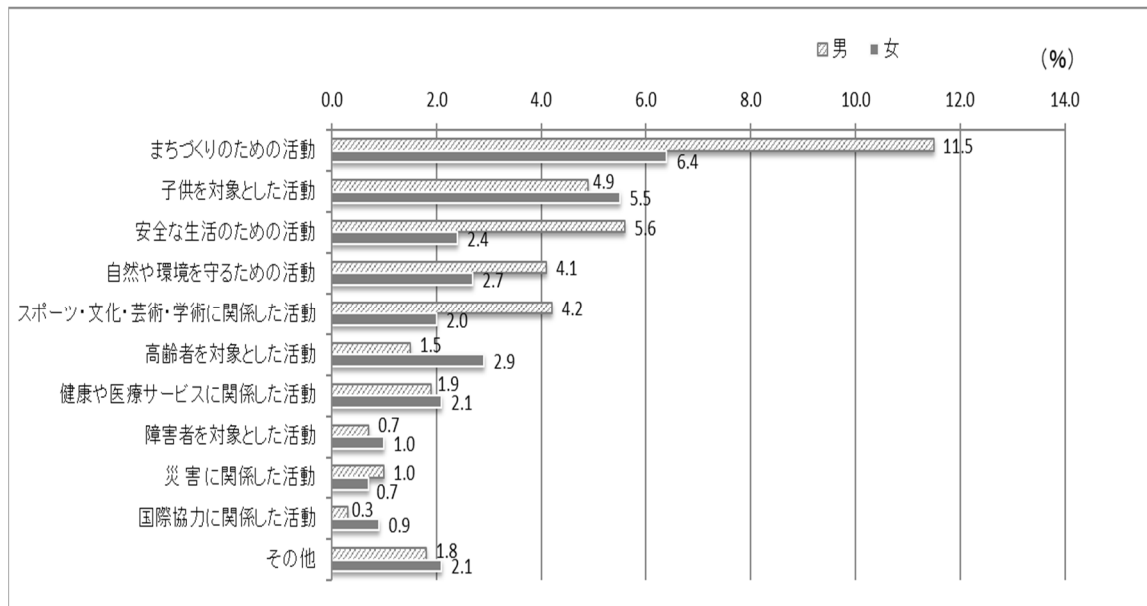
種類別に行動者率をみると、「まちづくりのための活動」が10.6%と最も高く、次いで「子供を対象とした活動」が4.9%、「安全な生活のための活動」、「自然や環境を守るための活動」と続いている。平成28年と比べると、9項目で低下している。(図2-3)

図2-3 「ボランティア活動」の種類別行動者率(平成28年、令和3年)-石川県



行動者率を男女別にみると、男性は「まちづくりのための活動」が最も高く、次いで「安全な生活のための活動」となっている。女性は「まちづくりのための活動」、「子供を対象とした活動」の順となっている。(図2-4)

図2-4 「ボランティア活動」の種類、男女別行動者(令和3年)-石川県率



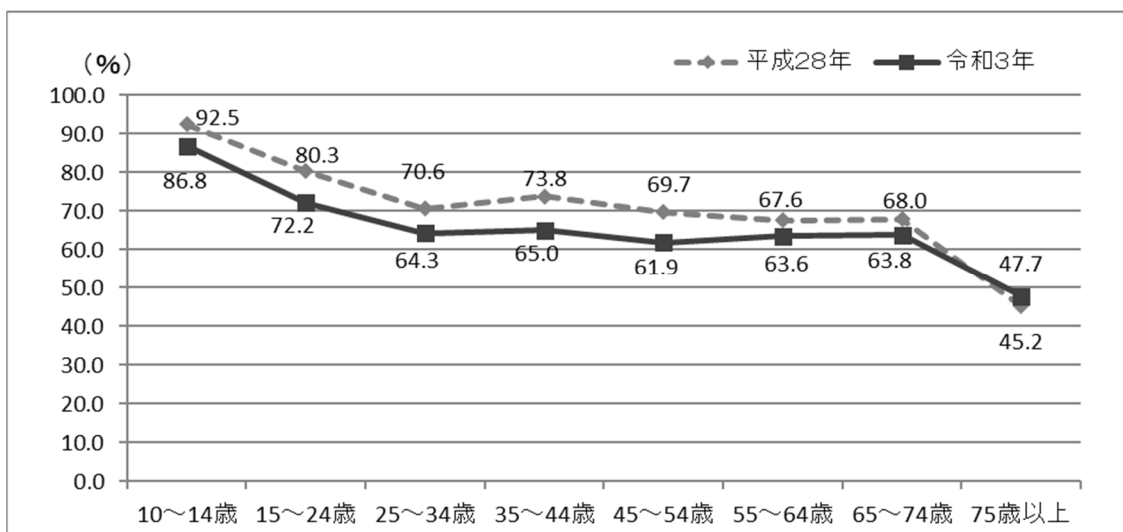
3 スポーツ

「スポーツ」の行動者率は63.4%で、5年前より5.7ポイント低下

「スポーツ」の行動者数は632千人で、行動者率は63.4%（全国66.5%）と、平成28年と比べると5.7ポイント低下している。

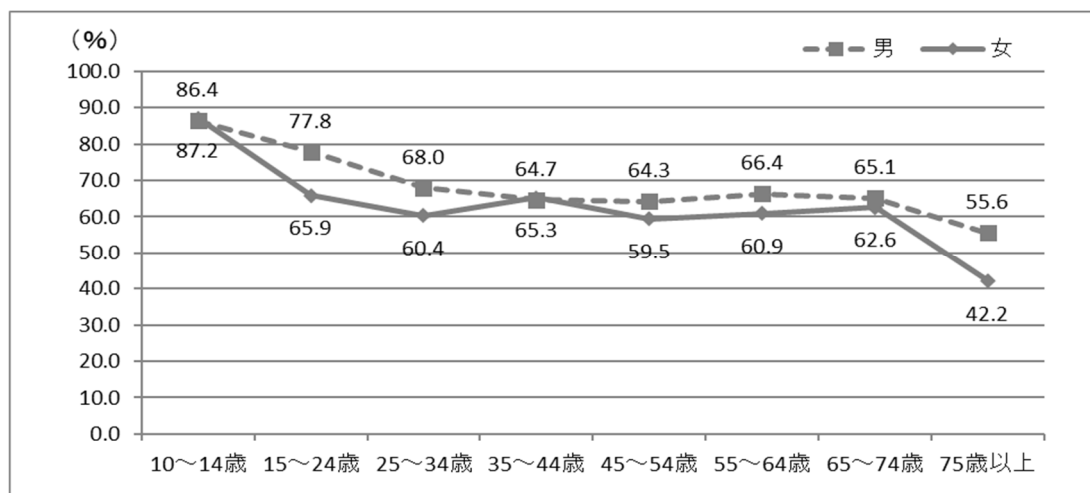
行動者率を年齢階級別にみると、10～14歳が86.8%と最も高く、年齢が高くなるにつれておおむね低下している。（図3-1）

図3-1 「スポーツ」の年齢階級別行動者率（平成28年、令和3年）-石川県



行動者数を男女別にみると男性が325千人、女性は307千人となっており、行動者率は男性が66.9%（全国69.9%）、女性が60.1%（同63.3%）となっており、男性のほうが女性より6.8ポイント高くなっている。

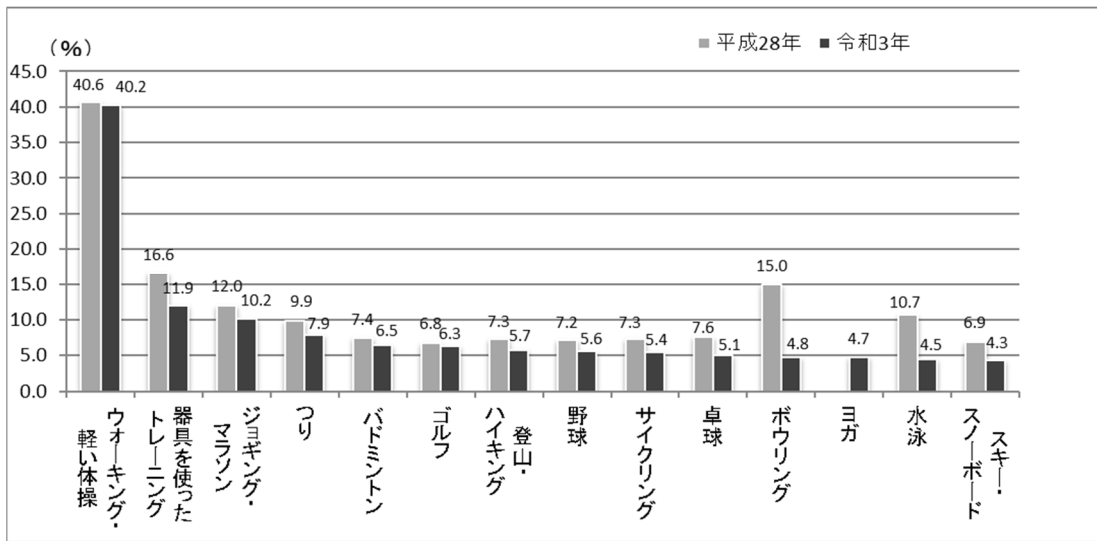
図3-2 「スポーツ」の男女、年齢階級別行動者率（令和3年）-石川県



行動者率は「ウォーキング・軽い体操」が最も高い

種類別行動者率をみると、「ウォーキング・軽い体操」が40.2%と最も高く、次いで「器具を使ったトレーニング」11.9%、「ジョギング・マラソン」10.2%となっている。（図3-3）

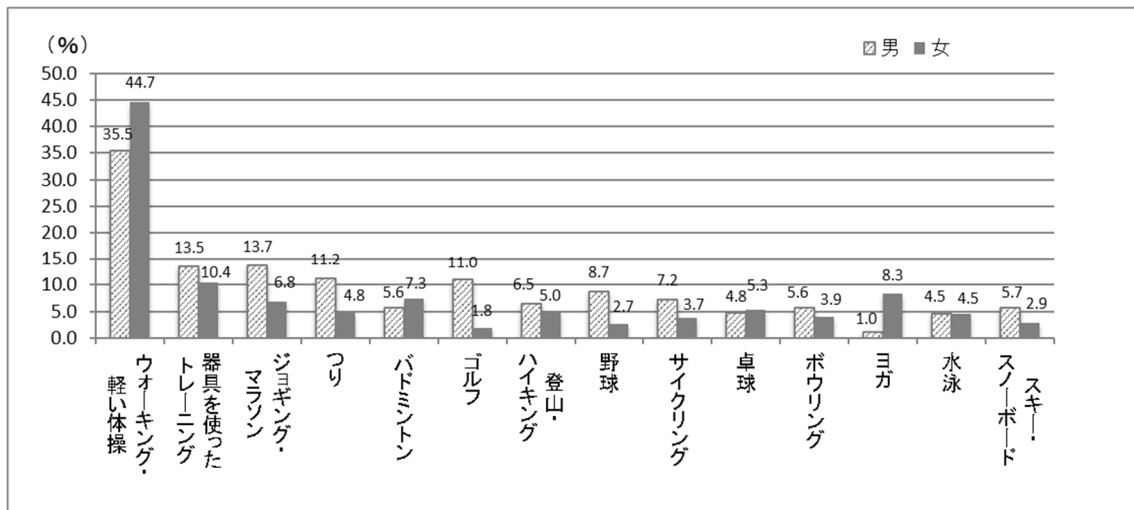
図3-3 「スポーツ」の種類別行動者率（平成28年、令和3年）-石川県



(注)「スポーツ」のうち主な種類を掲載。「ヨガ」は令和3年に項目追加。

種類・男女別にみると、男女ともに「ウォーキング・軽い体操」が最も高く、以下男性は「ジョギング・マラソン」、「器具を使ったトレーニング」と続き、女性は「器具を使ったトレーニング」、「ヨガ」となっている。（図3-4）

図3-4 「スポーツ」の種類、男女別行動者率（令和3年）-石川県



年齢階級別に主な種類をみると、10～14歳では「水泳」が最も高く、15歳以上のすべての年齢階級で「ウォーキング・軽い体操」が最も高くなっている。(表1)

表1 「スポーツ」の種類、年齢階級別行動者率の順位(令和3年)-石川県

	1位	2位	3位
10～14歳	水泳	ウォーキング・軽い体操	バドミントン
15～24歳	ウォーキング・軽い体操	ジョギング・マラソン	バドミントン
25～34歳	ウォーキング・軽い体操	器具を使ったトレーニング	ジョギング・マラソン
35～44歳	ウォーキング・軽い体操	つり	ジョギング・マラソン
45～54歳	ウォーキング・軽い体操	器具を使ったトレーニング	ゴルフ(練習場を含む)
55～64歳	ウォーキング・軽い体操	器具を使ったトレーニング	ゴルフ(練習場を含む)
65～74歳	ウォーキング・軽い体操	器具を使ったトレーニング	ゴルフ(練習場を含む)
75歳以上	ウォーキング・軽い体操	グラウンドゴルフ	器具を使ったトレーニング

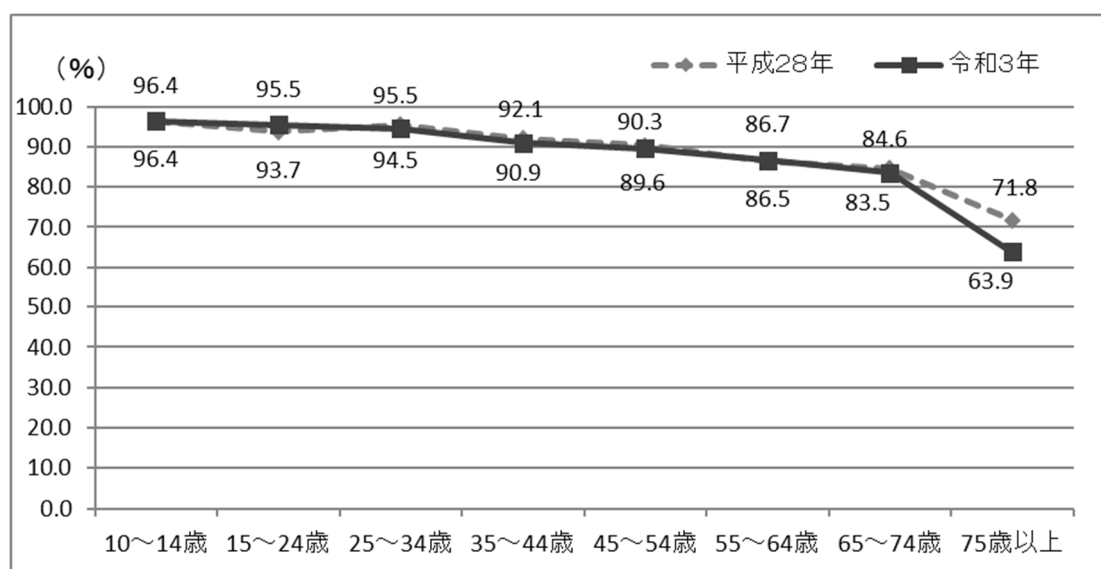
4 趣味・娯楽

「趣味・娯楽」の行動者率は86.2%で、5年前より1.8ポイント低下

「趣味・娯楽」の行動者数は860千人で、行動者率は86.2%（全国86.3%）で平成28年と比べると1.8ポイント低下している。

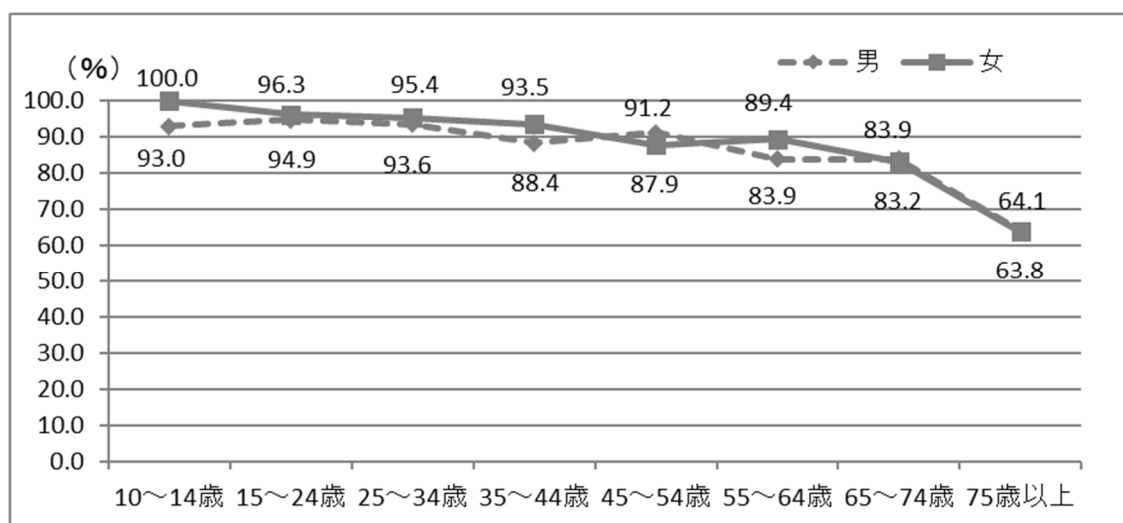
行動者率を年齢階級別にみると、10～14歳が96.4%と最も高く、年齢が高くなるにつれておおむね低下している。（図4-1）

図4-1 「趣味・娯楽」の年齢階級別行動者率（平成28年、令和3年）-石川県



行動者数を男女別にみると、男性が420千人、女性が440千人となっており、行動者率は男性が86.3%（全国86.8%）、女性は86.2%（全国85.8%）となっている。

図4-2 「趣味・娯楽」の男女、年齢階級別行動者率（令和3年）-石川県



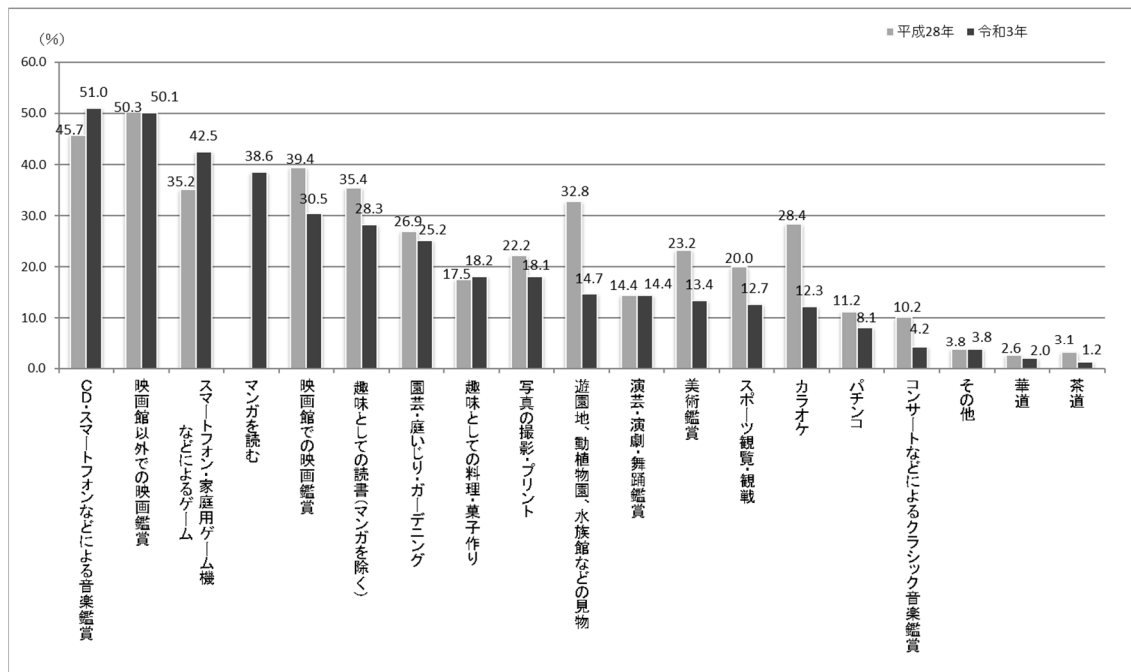
行動者率は「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が最も高い

種類別行動者率をみると、「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が51.0%と最も高く、次いで「映画館以外での映画鑑賞」が50.1%、「スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム」が42.5%となっている。

これを平成28年と比べると「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が5.3ポイント、「スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム」が7.3ポイント上昇などとなっている。(図4-3)

※「スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム」は平成28年には「テレビゲーム・パソコンゲーム(家庭で行うもの、携帯用を含む)」として調査、また「趣味としての読書(マンガを除く)」は平成28年には「趣味としての読書」として調査しており、定義の変更があるため比較には注意を要する。

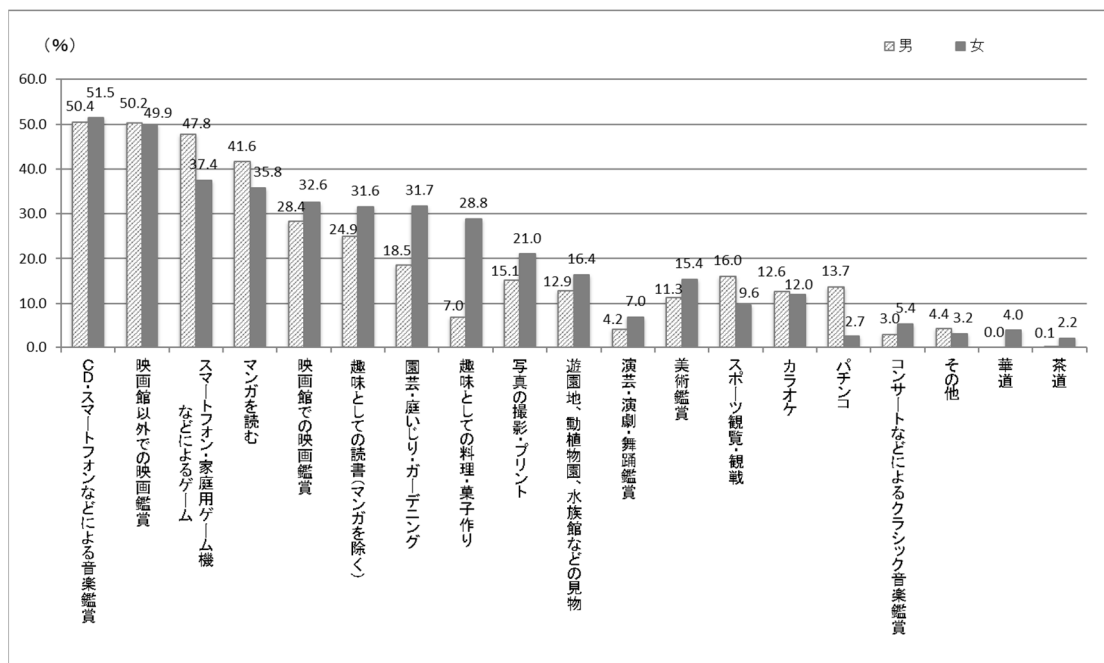
図4-3 「趣味・娯楽」の種類別行動者率(平成28年、令和3年)-石川県



(注)「趣味・娯楽」のうち主な種類を掲載。「マンガを読む」は令和3年に項目追加。

種類・男女別にみると男女とも「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」「映画館以外での映画鑑賞」などで高くなっている。（図4-4）

図4-4 「趣味・娯楽」の種類、男女別行動者率（令和3年）-石川県



年齢階級別に行動者率が高い種類をみると、10～14歳では「スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム」、15～54歳では「CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞」が高くなっている。（表2）

表2 「趣味・娯楽」の種類、年齢階級別行動者率の順位（令和3年）-石川県

	1位	2位	3位
10～14歳	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	マンガを読む	映画館以外での映画鑑賞
15～24歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	映画館以外での映画鑑賞
25～34歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム	映画館以外での映画鑑賞
35～44歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	映画館以外での映画鑑賞	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム ※同列2位
45～54歳	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	映画館以外での映画鑑賞	スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム
55～64歳	映画館以外での映画鑑賞	CD・スマートフォンなどによる音楽鑑賞	園芸・庭いじり・ガーデニング
65～74歳	園芸・庭いじり・ガーデニング	映画館以外での映画鑑賞	趣味としての読書（マンガを除く）
75歳以上	園芸・庭いじり・ガーデニング	映画館以外での映画鑑賞	趣味としての読書（マンガを除く）

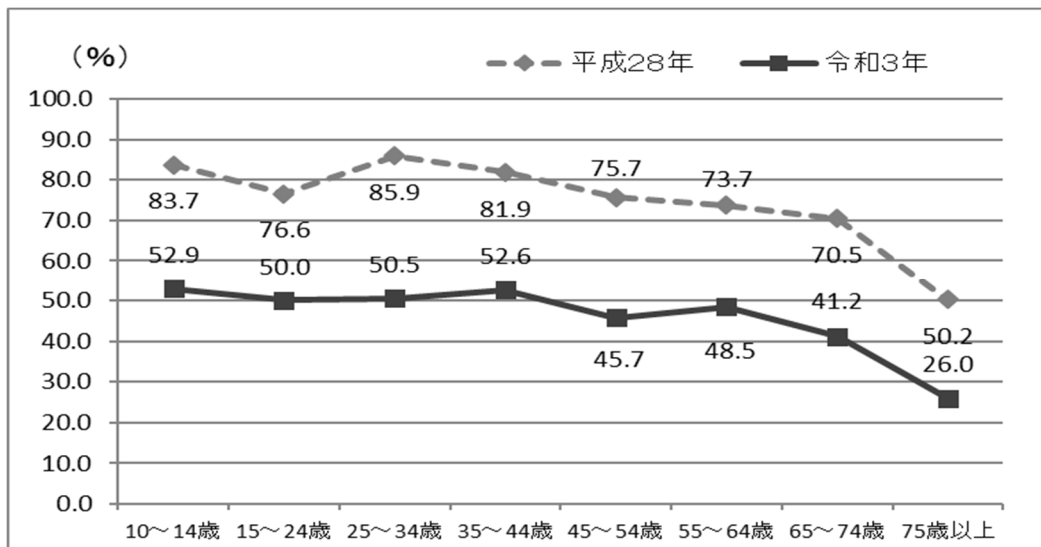
5 旅行・行楽

「旅行・行楽」の行動者率は44.7%で、5年前より29.2ポイント低下

「旅行・行楽」の行動者数は446千人で、行動者率は44.7%（全国49.5%）で平成28年と比べると29.2ポイント低下している。

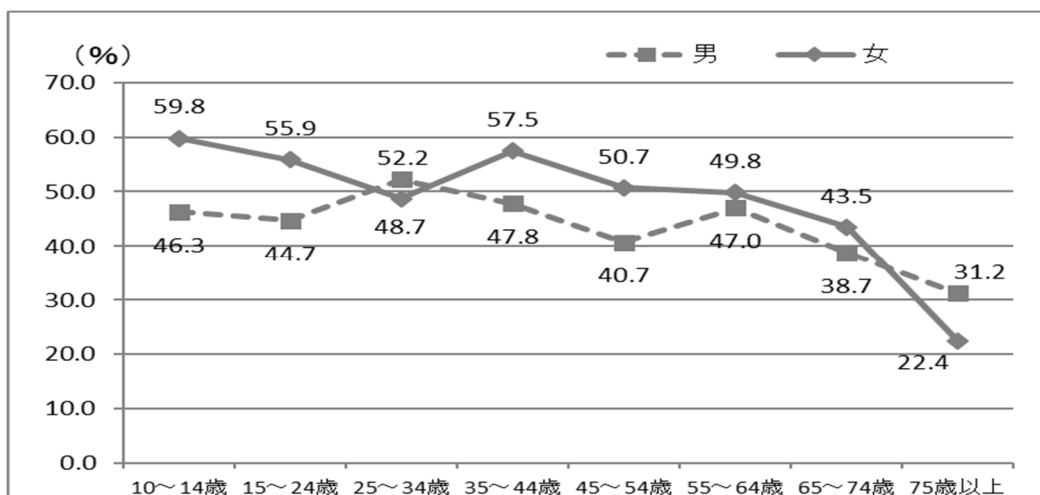
行動者率を年齢階級別にみると、10～14歳が52.9%で最も高い。（図5-1）

図5-1 「旅行・行楽」の年齢階級別行動者率（平成28年、令和3年）-石川県



行動者数を男女別にみると、男性が210千人、女性は236千人となっており、行動者率は男性が45.1%（全国48.9%）、女性が46.3%（全国50.1%）となっており、女性のほうが、3.2ポイント高くなっている。

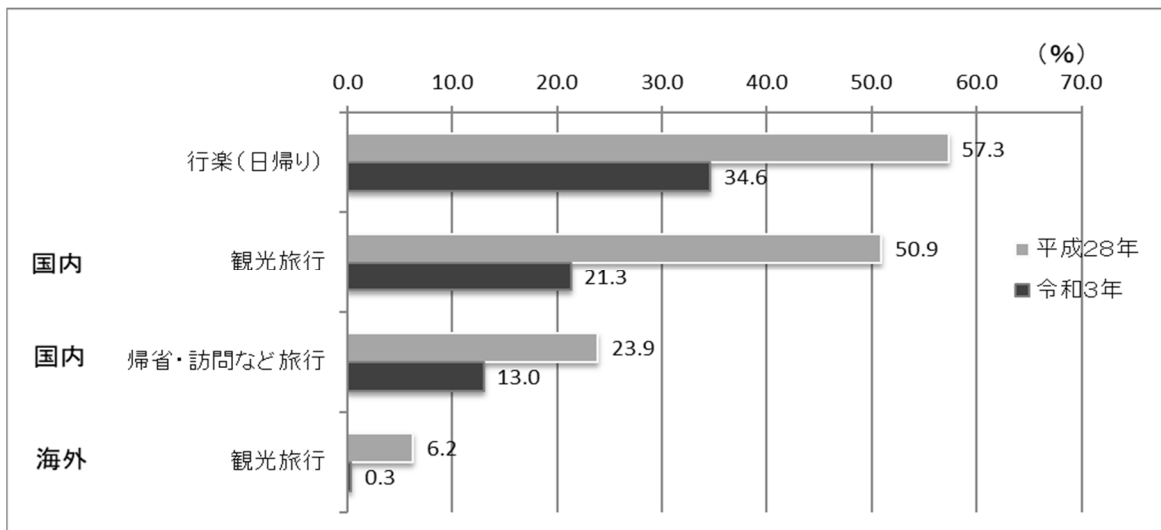
図5-2 「旅行・行楽」の男女、年齢階級別行動者率（令和3年）-石川県



行動者率は「行楽（日帰り）」が34.6%

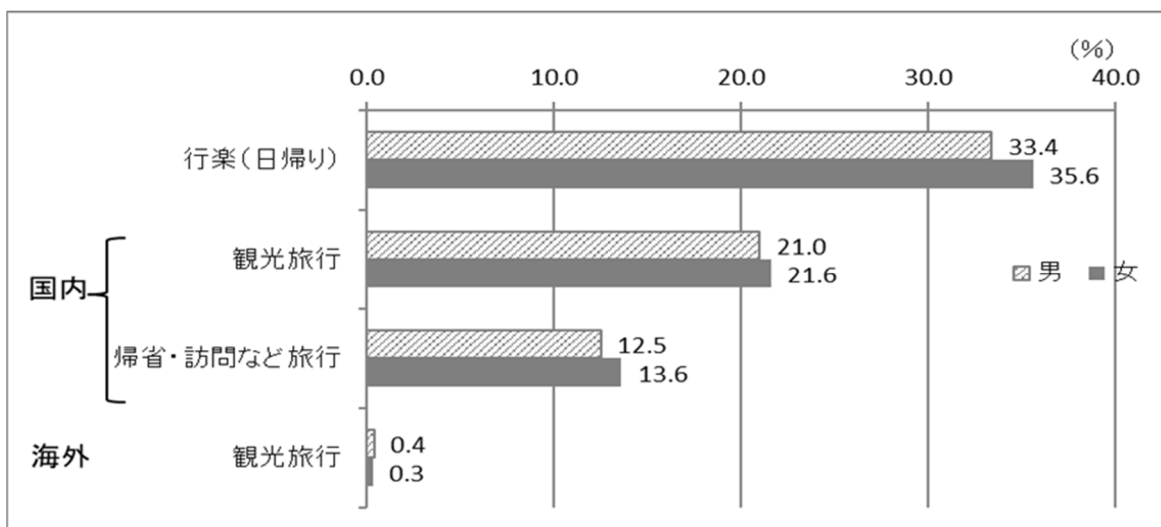
種類別にみると、「行楽（日帰り）」が34.6%、観光旅行では、国内が21.3%、海外が0.3%となっている。これを平成28年と比べると、「行楽（日帰り）」は22.7ポイント、「観光旅行（国内）」は29.6ポイント、「帰省・訪問などの旅行」は10.9ポイント、「観光旅行（海外）」は5.9ポイント、それぞれ低下している。（図5-3）

図5-3 「旅行・行楽」の種類別行動者率（平成28年、令和3年）-石川県



種類を男女別にみると、「観光旅行（海外）」を除く項目で女性の方が男性より高くなっており、「行楽（日帰り）」では男性33.4%に対し女性35.6%と女性の方が2.2ポイント高くなっている。（図5-4）

図5-4 「旅行・行楽」の種類、男女別行動者率（令和3年）-石川県



生活時間編

1 1日の生活時間の配分

1次活動時間が増加し、2次活動時間及び3次活動時間が減少

10歳以上の県民について1日の生活時間をみると、1次活動時間が10時間58分（全国：10時間57分）、2次活動時間が6時間47分（同：6時間47分）、3次活動時間が6時間14分（同：6時間16分）となっている。

前回調査（平成28年）と比べると、1次活動は24分の増加（全国：16分増加）、2次活動は19分の減少（同：10分減少）、3次活動は6分の減少（同：6分減少）となっている。

これを男女別にみると、男性は1次活動が27分の増加（全国：16分増加）、2次活動が22分の減少（同：14分減少）、3次活動が5分の減少（同：2分減少）、女性は1次活動が22分の増加（同：14分増加）、2次活動が15分の減少（同：6分減少）、3次活動が7分の減少（同：9分減少）となっている。（表3-1、及び表3-2）

表3-1 男女、行動別生活時間（平成28年、令和3年）－石川県、全国、週全体

（時間.分）

		H28			R3			増 減		
		1次活動	2次活動	3次活動	1次活動	2次活動	3次活動	1次活動	2次活動	3次活動
石川県	総数	10.34	7.06	6.20	10.58	6.47	6.14	0.24	-0.19	-0.06
	男	10.28	6.53	6.39	10.55	6.31	6.34	0.27	-0.22	-0.05
	女	10.40	7.18	6.02	11.02	7.03	5.55	0.22	-0.15	-0.07
全国	総数	10.41	6.57	6.22	10.57	6.47	6.16	0.16	-0.10	-0.06
	男	10.34	6.50	6.36	10.50	6.36	6.34	0.16	-0.14	-0.02
	女	10.49	7.03	6.09	11.03	6.57	6.00	0.14	-0.06	-0.09

表3-2 男女、行動の種類別生活時間（平成28年，令和3年）－石川県、週全体

(時間.分)

	総数			男			女		
	H28	R3	増減	H28	R3	増減	H28	R3	増減
1次活動	10.34	10.58	0.24	10.28	10.55	0.27	10.40	11.02	0.22
睡眠	7.42	7.59	0.17	7.50	8.05	0.15	7.34	7.53	0.19
身の回りの用事	1.15	1.23	0.08	1.03	1.14	0.11	1.27	1.31	0.04
食事	1.37	1.37	0.00	1.35	1.36	0.01	1.40	1.38	-0.02
2次活動	7.06	6.47	-0.19	6.53	6.31	-0.22	7.18	7.03	-0.15
仕事等	4.57	4.50	-0.07	6.11	5.55	-0.16	3.46	3.49	0.03
通勤・通学	0.27	0.26	-0.01	0.33	0.32	-0.01	0.22	0.21	-0.01
仕事	3.46	3.44	-0.02	4.53	4.42	-0.11	2.42	2.49	0.07
学業	0.44	0.40	-0.04	0.45	0.41	-0.04	0.42	0.39	-0.03
家事関連	2.09	1.57	-0.12	0.42	0.36	-0.06	3.32	3.13	-0.19
家事	1.24	1.19	-0.05	0.18	0.17	-0.01	2.27	2.17	-0.10
介護・看護	0.04	0.02	-0.02	0.02	0.01	-0.01	0.06	0.03	-0.03
育児	0.16	0.13	-0.03	0.06	0.03	-0.03	0.25	0.22	-0.03
買い物	0.25	0.23	-0.02	0.16	0.15	-0.01	0.34	0.31	-0.03
3次活動	6.20	6.14	-0.06	6.39	6.34	-0.05	6.02	5.55	-0.07
移動（通勤・通学を除く）	0.29	0.20	-0.09	0.29	0.20	-0.09	0.30	0.20	-0.10
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.12	2.14	0.02	2.15	2.18	0.03	2.10	2.10	0.00
休養・くつろぎ	1.37	1.56	0.19	1.40	2.02	0.22	1.35	1.50	0.15
学習・自己啓発・訓練（学業以外）	0.12	0.10	-0.02	0.13	0.10	-0.03	0.11	0.10	-0.01
趣味・娯楽	0.49	0.49	0.00	1.02	0.59	-0.03	0.37	0.38	0.01
スポーツ	0.15	0.14	-0.01	0.20	0.17	-0.03	0.10	0.11	0.01
ボランティア活動・社会参加活動	0.05	0.02	-0.03	0.06	0.03	-0.03	0.04	0.02	-0.02
交際・付き合い	0.16	0.11	-0.05	0.15	0.09	-0.06	0.18	0.14	-0.04
受診・療養	0.08	0.05	-0.03	0.06	0.04	-0.02	0.10	0.05	-0.05
その他	0.16	0.14	-0.02	0.15	0.12	-0.03	0.17	0.15	-0.02

2 家事関連時間

家事関連時間は、男女とも減少。男女差は縮小傾向にある

家事関連時間（「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」の時間）を男女別に平成 28 年と比べると男性は 36 分で 6 分の減少（全国：7 分増加）、女性は 3 時間 13 分で 20 分の減少（同：4 分減少）となっている。

家事関連時間の推移をみると、平成 18 年に比べ、男性は 2 分の増加（全国：13 分増加）、女性は 17 分の減少（同：11 分減少）となっている。男女の差は 2 時間 37 分と、平成 18 年に比べ減少しているが、依然として男女の間に大きな差が見られる。

（表 4－1）

表 4－1 男女別家事関連時間の推移（平成 18 年～令和 3 年）－石川県、全国、週全体

（時間. 分）

	石川県			全国		
	男	女	差	男	女	差
H18	0.34	3.30	-2.56	0.38	3.35	-2.57
H23	0.34	3.22	-2.48	0.42	3.35	-2.53
H28	0.42	3.32	-2.50	0.44	3.28	-2.44
R3	0.36	3.13	-2.37	0.51	3.24	-2.33

6歳未満の子どもがいる世帯について、夫と妻の家事関連時間をみると、夫は58分、妻は7時間39分となっており、平成28年と比べると、夫は18分の減少（全国：31分増加）、妻は58分の増加（同：4分減少）となっている。（表4-2）

表4-2 6歳未満の子どもを持つ夫・妻の家事関連時間－石川県、全国、週全体

（時間、分）

	夫					
	石川県			全国		
	H28	R3	増減	H28	R3	増減
家事関連	1.16	0.58	-0.18	1.22	1.53	0.31
家事	0.21	0.16	-0.05	0.17	0.29	0.12
介護・看護	0.02	0.00	-0.02	0.01	0.01	0.00
育児	0.42	0.32	-0.10	0.48	1.05	0.17
買い物	0.11	0.10	-0.01	0.16	0.18	0.02
	妻					
	石川県			全国		
	H28	R3	増減	H28	R3	増減
家事関連	6.41	7.39	0.58	7.30	7.26	-0.04
家事	2.55	2.27	-0.28	3.06	2.57	-0.09
介護・看護	0.04	0.01	-0.03	0.06	0.03	-0.03
育児	3.05	4.37	1.32	3.42	3.53	0.11
買い物	0.37	0.34	-0.03	0.36	0.33	-0.03

3 仕事の状況

仕事時間は、総じて減少傾向にある

有業者（15歳以上。以下同じ）の仕事時間についてみると、男性が6時間41分、女性が4時間56分と、男性が女性に比べ1時間45分長くなっている。平成28年と比べると、男性は25分の減少（全国：22分減少）、女性は2分の増加（同：5分減少）となっている。

推移をみると、平成18年に比べ、男性は44分の減少（全国：33分減少）、女性は20分の減少（同：18分減少）となっている。男女の差は平成18年の2時間9分に比べ減少している。（表5-1）

表5-1 男女別仕事時間の推移（平成18年～令和3年）－石川県、全国、週全体

（時間.分）

	石川県		全国	
	男	女	男	女
H18	7.25	5.16	7.00	5.00
H23	7.10	5.09	6.56	4.50
H28	7.06	4.54	6.49	4.47
R3	6.41	4.56	6.27	4.42

有業者のうち雇用されている人の仕事時間を雇用形態別にみると、「正規の職員・従業員」が6時間55分（全国：6時間43分）、「正規の職員・従業員以外」が4時間21分（同：4時間5分）となっており、平成28年と比べると、「正規の職員・従業員」は32分の減少（全国：26分の減少）、「正規の職員・従業員以外」は2分の増加（同：14分の減少）となっている。（表5-2）

表5-2 男女別雇用形態別仕事時間（平成28年、令和3年）－石川県、全国、週全体

(時間、分)

		石川県			全国		
		H28	R3	増減	H28	R3	増減
総 数	総数	6.06	5.53	-0.13	5.55	5.40	-0.15
	雇用されている人	6.12	5.59	-0.13	5.59	5.43	-0.16
	正規の職員・従業員	7.27	6.55	-0.32	7.09	6.43	-0.26
	正規の職員・従業員以外	4.19	4.21	0.02	4.19	4.05	-0.14
	パート	4.03	4.04	0.01	4.01	3.53	-0.08
	アルバイト	3.27	2.57	-0.30	3.31	3.03	-0.28
男	総数	7.06	6.41	-0.25	6.49	6.27	-0.22
	雇用されている人	7.11	6.44	-0.27	6.53	6.30	-0.23
	正規の職員・従業員	7.58	7.16	-0.42	7.33	7.03	-0.30
	正規の職員・従業員以外	4.18	5.00	0.42	4.57	4.36	-0.21
	パート	4.45	3.53	-0.52	4.37	4.30	-0.07
	アルバイト	3.23	3.31	0.08	3.54	3.22	-0.32
女	総数	4.54	4.56	0.02	4.47	4.42	-0.05
	雇用されている人	5.05	5.10	0.05	4.54	4.49	-0.05
	正規の職員・従業員	6.16	6.20	0.04	6.16	6.03	-0.13
	正規の職員・従業員以外	4.17	4.01	-0.16	4.01	3.51	-0.10
	パート	3.57	4.06	0.09	3.56	3.48	-0.08
	アルバイト	3.28	2.17	-1.11	3.07	2.44	-0.23